

【御案内】

平成 29 年度岡山県総合教育センター 教育研究発表大会

教育研究発表大会では、当総合教育センターの教育研究の成果や学校を支援する取組等を紹介し、情報の共有や研究協議を通して、岡山県の教育の充実を図ります。

記

日時 平成 30 年 2 月 17 日（土） 10:30～15:10

会場 岡山県総合教育センター

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川 7545-11

TEL (0866) 56-9101 [代表] FAX (0866) 56-9121 [代表]

Webページ <http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/>



日程

10:00	受付開始
10:30	開会行事
10:55	所員発表Ⅰ（最終報告） <ul style="list-style-type: none">新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりのポイント（教科教育部）不登校やいじめ、暴力行為等を生まないための学校づくりに関わる校内研修パッケージの開発Ⅱ（生徒指導部）情報モラルに関する研究（スマホ・ネット問題に関する実践事例の収集と情報提供）（情報教育部）
12:05	昼食 展示鑑賞・模擬体験 <ul style="list-style-type: none">研修講座及び学校支援等の展示（センター事業紹介）教育資料の展示岡山県の教育施策等に関する展示、国の動向に関する展示プログラミング体験講座
13:05	長期研修員発表 <ul style="list-style-type: none">多様な学びの場における特別支援教育の観点を取り入れた国語科の授業づくり（小学校、特別支援教育）国語科における「情報を多面的・多角的に精査し構造化する力」の育成（中学校、国語）定時制高校数学科における問題解決能力の育成を目指した指導法の一考察（高等学校、数学）
14:00	所員発表Ⅱ（中間報告） <ul style="list-style-type: none">学校の課題解決に向けた校内チーム制の効果的な進め方に関する研究（教育経営部）探究するために必要な資質・能力を育む理科の授業づくりに関する研究（教科教育部）知的障害教育における「主体的・対話的で深い学び」に関する研究（特別支援教育部）
15:10	閉会

※研究テーマは仮題です。変更する可能性があります。

■ 所員発表 I (分科会発表) 最終報告

10:55 ~ 12:05

○児童生徒の学力向上 (教科教育部 指導主事 萩原 透) 「新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりのポイント」

申込み番号→

1

これからの学校教育には、子供たちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力などが求められます。こうした状況を踏まえ、新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質・能力を育成することを目指すことが示されました。

今年度の発表では、新学習指導要領の趣旨を生かした授業づくりのポイントを「主体的・対話的で深い学び」と「カリキュラム・マネジメント」の視点から紹介します。

キーワード 育成を目指す資質・能力、主体的・対話的で深い学び、カリキュラム・マネジメント

○問題行動等への対応 (生徒指導部 指導主事 松浦 孝昭) 「不登校やいじめ、暴力行為等を生まないための学校づくりに

申込み番号→

2

関わる校内研修パッケージの開発 II」

生徒指導部では、生徒指導についての校内研修を容易に実施できる、校内研修パッケージを開発しています。今年度は、平成28年2月に提案した「基礎研修」と「課題別研修」とをつなぐ位置付けとして、「方法研修」の研修パッケージを三つ開発しました。「アセスメント力向上パッケージ<児童生徒理解>」「コミュニケーション力向上パッケージ<児童生徒との信頼関係づくり>」「ファシリテーション力向上パッケージ<学級 (HR) 集団づくりの促進>」の概要について紹介します。

キーワード 生徒指導、校内研修、アセスメント力、コミュニケーション力、ファシリテーション力

○問題行動等への対応 (情報教育部 指導主事 青山 茂行) 「情報モラルに関する研究

申込み番号→

3

(スマホ・ネット問題に関する実践事例の収集と情報提供)」

学校現場でのスマホ・ネット問題への対応には、「教職員研修」「児童生徒への情報モラルの指導」「保護者の啓発」を充実させ、「全ての児童生徒が適切な情報モラルの指導を受けることができる」ことが大切です。本研究では、その支援方策として「実践事例の紹介」「校内研修モジュールの紹介」「児童生徒スマホ・ネット支援モデル表の作成」「ポータルサイト (スマポ) の作成」「e-Meeting 研修」に取り組んでいます。最終報告では、協力校による実践発表も予定しています。

キーワード スマホ・ネット問題、情報モラル教育、校内研修モジュール、e-Meeting研修

■ 展示鑑賞・模擬体験

12:05 ~ 13:05

メディアセンター展示と模擬体験

【展示】

○教育資料の展示

- ・教科書 ・教育に関する専門書 ・教育用雑誌
- ・研究紀要 ・教材・教具 ・教育用ソフトウェア
- ・指導者用デジタル教科書 ・DVD教材 など

【模擬体験】(申込み不要・先着順) 12:35~12:55

○ロボホンを活用したプログラミング体験講座



新小学校学習指導要領におけるプログラミング教育の必修化を見据え、総合教育センターでは、本年6月からロボット教材 (ロボホン) の貸出を行っています。当日はロボット教材を活用した体験講座を行いますので、プログラミングは初めてという方も是非御参加ください。

定員28名 満席の場合は御容赦ください。(見学は可)

研修講座及び学校支援等の展示

- ・「研修講座」「学校支援」等の事業の概要紹介



国の動向・県教育庁事業等の展示

- ・新学習指導要領について
- ・主体的・対話的で深い学びについて
- ・学力向上に係る各種資料の展示
- ・いじめ防止ポスター及び標語入賞作品の紹介
- ・教職大学院政策課題研究派遣における研究報告 など

■ 長期研修員発表（分科会発表）

13:05 ～ 13:45

<p>○特別支援教育 (小学校) の発表</p> <p>津山市立 成名小学校 教諭 米戸 啓一</p>	<p>「多様な学びの場における特別支援教育の観点を取り入れた 国語科の授業づくり」 申込み番号→ 11</p> <p>特別支援教室を利用しながら通常の学級に在籍する児童の教育的ニーズに、どのように応えていくかについて研究しました。アセスメントシート分析パッケージ等を活用した、総合的な実態把握に基づいた国語科の授業づくりについて紹介します。 キーワード 特別支援教育、小学校国語、多様な学びの場、総合的な実態把握、背景要因</p>
<p>○国語 (中学校) の発表</p> <p>新見市立 新見第一中学校 教諭 八木 真澄</p>	<p>「国語科における 『情報を多面的・多角的に精査し構造化する力』の育成」 申込み番号→ 12</p> <p>国語科において、文章で表された情報を的確に理解し、自分の考えの形成に生かす生徒の育成を目指すため、「情報を多面的・多角的に精査し構造化する力」を身に付けさせる授業の工夫を紹介します。 キーワード 中学校国語科、情報を多面的・多角的に精査し構造化する力、自分の考えの形成</p>
<p>○数学 (高等学校) の発表</p> <p>岡山県立 鳥城高等学校 教諭 森永 孝行</p>	<p>「定時制高校数学科における問題解決能力の育成を 目指した指導法の一考察」 申込み番号→ 13</p> <p>数学の問題解決に必要な資質・能力の育成を目指した指導法について研究しました。問題解決の過程で知識の再構成を繰り返す「学び直し」の授業の工夫から得られた、生徒の思考の深まり等の成果を紹介します。 キーワード 定時制、高等学校数学科、問題解決能力、学び直し</p>

■ 所員発表Ⅱ（分科会発表） 中間報告

14:00 ～ 15:00

○人材育成に関する研究（教育経営部 指導主事 太田 正浩） 申込み番号→ **21** 「学校の課題解決に向けた校内チーム制の効果的な進め方に関する研究」

平成28年度から「岡山県公立学校教員等人材育成基本方針」に基づく校内チーム制が実施され、現在、各校において、「関わり合い」の仕組みができています。この校内チーム制をうまく機能させるためのポイントは何か、また、若手育成等の人材育成にとどまらず、学校の課題解決や組織の変容にどうつなげていくか等について、事例やアンケート調査結果等をもとに紹介し、提案します。

キーワード 校内チーム制、「関わり合い」、若手育成、学校の課題解決、「人」の意識と行動

○児童生徒の学力向上（教科教育部 指導主事 伊藤 昌訓） 申込み番号→ **22** 「探究するために必要な資質・能力を育む理科の授業づくりに関する研究」

「理科」の授業において、科学的に探究する学習を充実させていくことが求められ、新学習指導要領における「理科」の改訂の基本的な考え方にも示されました。本研究では、探究活動を単元等に効果的に位置付ける方策を検討し、授業実践を行いました。今年度の発表では、授業実践から見てきた授業づくりのポイントについて紹介し、今後の授業づくりについて共に考えていきたいと思っております。

キーワード 中学校・高等学校の「理科」の授業づくり、探究的な学習

○特別支援教育の推進（特別支援教育部 指導主事 木下 聡子） 申込み番号→ **23** 「知的障害教育における『主体的・対話的で深い学び』に関する研究」

新学習指導要領を受けて、知的障害のある子どもたちの学習上の特徴を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」を明らかにします。今年度は、授業実践の中から児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の姿を抽出し、整理しました。それらを基に、授業改善を行う上での大切な視点、例えば、自らの気づきを促す教師のアプローチ等について考察した経過を紹介します。

キーワード 教育課程、育成すべき資質・能力、知的障害教育、主体的・対話的で深い学び

※研究テーマは仮題です。変更する可能性があります。

◇ 交通の御案内

1 自家用車等

- ・山陽自動車道 岡山 I C から 約 35 分
- ・山陽自動車道 岡山総社 I C から 約 35 分
- ・岡山自動車道 賀陽 I C から 約 15 分
- ・岡山空港から 約 25 分

2 チャーターバス

(J R 岡山駅運動公園口 (西口) からの無料直行便)

乗車場所等はセンターのWebページで御確認ください。御利用の際は、「行き」「帰り」とも必ず御乗車ください。途中下車はできません。

行き	J R 岡山駅運動公園口 (西口) 発車時刻	9:00
帰り	岡山県総合教育センター 発車時刻	15:30

※行き、帰りとも、一便のみの運行です。

3 公共バス路線

- ・J R 岡山駅から (中鉄バス)
- ・J R 備中高梁駅から (備北バス)

※便数が少ないので時間をよく確認の上、御利用ください。



◇ 参加申込み

- 申込み方法
 - 岡山県電子申請サービスの場合 岡山県総合教育センターWebページ (<http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/>) から「平成 29 年度 教育研究発表大会」に移動し、「岡山県電子申請サービスによる申込み」を選択してください。専用ページに移動後、「利用者登録せずに申し込む方はこちら」をクリックし、画面下の「同意する」をクリックすると電子申請の画面が開きますので、画面の指示に従って申込みを行ってください。
 - F A X の場合 参加申込書に必要事項を記入の上、岡山県総合教育センター [FAX (0866) 56-9121] に送信してください。
 - 郵送の場合 参加申込書に必要事項を記入の上、次の宛先へ郵送してください。
〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川 7545-11
岡山県総合教育センター教育研究発表大会係
- 申込み期限 平成 30 年 2 月 7 日 (水)
- その他
 - 全ての発表は分科会形式で行います。分科会への参加を希望される場合は、申込みの際に参加希望の分科会番号 (1 ~ 3、11 ~ 13、21 ~ 23) を御記入ください。分科会への参加を希望されない場合は、その時間、自由に展示を御覧いただけます。
 - 弁当の販売はありませんので、昼食は各自で御用意ください。
 - チャーターバス (J R 岡山駅運動公園口 (西口) からの直行便) の御利用を希望される場合は、申込みの際に御記入ください。

◇ 問い合わせ先

岡山県総合教育センター 教育研究発表大会係・赤木 TEL (0866) 56 - 9101 (代表)